



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社

コード番号 4543 URL <http://www.terumo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 新宅 祐太郎

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 桑井 哲也

TEL 03-3217-6550

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	190,718	16.3	34,632	5.9	31,291	11.1	17,712	△3.5
23年3月期第2四半期	163,918	3.7	32,706	0.5	28,174	△12.6	18,364	△11.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △5,222百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 6,427百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	93.28	—
23年3月期第2四半期	96.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	681,809	326,812	47.9	1,719.91
23年3月期	420,037	335,456	79.8	1,765.32

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 326,577百万円 23年3月期 335,202百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	16.00	—	18.00	34.00
24年3月期	—	17.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	383,000	16.7	62,600	△0.0	58,000	1.9	32,500	0.5	171.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

年間想定レート: 1ドル=77円、1ユーロ=108円

のれんの償却を含む

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 3社 (社名) CaridianBCT Holding Corp、 CaridianBCT Inc.、 Gambro, Inc. 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	210,876,260 株	23年3月期	210,876,260 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	20,996,012 株	23年3月期	20,994,926 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	189,880,663 株	23年3月期2Q	189,894,119 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、添付資料5ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報（その他）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
(3) 継続企業の前提に関する注記	11
(4) セグメント情報等	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(6) 重要な後発事象	12
4. 補足情報	13
所在地別収支	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における世界経済は、欧米の景気減速、新興国で景気拡大のスピードが鈍化するなど総体的に減速傾向にある中、ユーロ圏の債務危機懸念や、米国債の格下げなど先行き不透明感が増しました。さらに、これらの経済環境を背景に円高が急速に進行するなど、当社グループにとって厳しい経営環境となりました。

そうした中でも世界の医療市場は、新興国の経済成長と医療水準の向上に伴う医療機器の需要拡大、先進国では様々な医療制度改革により医療費抑制が強化される中、医療経済性に対するニーズがより高まるなど、当社グループの強みを活かせる新たな成長機会が広がりつつあります。

当社グループは、G P 1 “1 trillion Global Presence” 「2020年までに、世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、平成24年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画「G P 1－2013飛躍的成長に向けて」をスタートしました。主な成長戦略は、グローバルでの開発強化により内部成長力を高めることに加え、平成23年4月に買収したCaridianBCT社との統合により、両社の強みを最大限に活かし、飛躍的な成長を目指すことです。また同時に、リスク対策、収益性の改善、財務など体質強化も図ってまいります。これらの戦略を着実に実行することで、持続的な二桁成長を目指してまいります。

当社グループは、本年9月、創立90周年を迎えました。大正10年に北里柴三郎博士らが発起人となり設立され、「医療を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、体温計の製造から医療の安全性を守るためのディスプレイ製品の普及、高度医療を総合的に支える医療機器の開発へと活動のステージを広げてきました。これからも市場ニーズに対応した製品を開発、投入し、世界の人々の健康に一層の貢献をするため、グローバルな事業展開をさらに推進してまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	163,918	190,718	16.3	19.5
売上総利益	85,599	103,177	20.5	25.8
営業利益	32,706	34,632	5.9	13.2
経常利益	28,174	31,291	11.1	—
四半期純利益	18,364	17,712	△3.5	—

(注) CaridianBCT社、Harvest社含む

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響等除く 伸長率 (%)
売上高	163,918	167,151	2.0	4.7
売上総利益	85,599	88,421	3.3	7.6
営業利益	32,706	34,649	5.9	13.0
経常利益	28,174	31,572	12.1	—
四半期純利益	18,364	19,290	5.0	—

(注) CaridianBCT社、Harvest社除く

<売上高>

売上高は前年同期比16.3%増の1,907億円となりました。今期、買収を完了したCaridianBCT社とHarvest Technologies社を除く既存事業（以下、既存事業）では、前年同期比2.0%増の1,672億円となりました。

地域別

(単位：百万円)

地 域	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日 本	89,471	91,656	2.4%	2.4%
欧 州	27,331	28,925	5.8%	6.7%
米 州	28,706	26,356	△8.2%	2.3%
アジア他	18,409	20,212	9.8%	17.3%
海 外 計	74,447	75,494	1.4%	7.6%

(注) CaridianBCT社、Harvest社除く

国内では、震災の影響により一時供給が不足した輸液剤などホスピタル商品が苦戦する一方で、5月に販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）が順調にシェアを獲得し、売上を伸ばしました。

これらの結果、国内売上高は前年同期比2.4%増の917億円となりました。

海外では、すべての地域でカテーテル商品群の売上が好調に推移しました。特に、中国では現地通貨ベースで前年同期比30%を超える伸長を達成するなど、全体を押し上げました。しかし円高進行による為替の影響を大きく受け、海外売上高は前年同期比1.4%増の755億円となりました。

<売上総利益>

売上総利益は前年同期比20.5%増の1,032億円となりました。既存事業では為替の影響を受けながらも、高収益品へのシフトならびに増産効果などにより前年同期比3.3%増の884億円となりました。

<営業利益>

営業利益は、企業結合による新規のれん償却などの影響があったものの、前年同期比5.9%増の346億円となりました。既存事業では、売上総利益の増加と一般管理費の効率運用などにより、前年同期比5.9%増の346億円となりました。

<経常利益>

経常利益は、急速な円高進行や、買収に伴う短期借入金増加による支払利息の影響があったものの、前年同期比11.1%増の313億円となりました。既存事業でも同様の影響がありながら、前年同期比12.1%増の316億円となりました。

<四半期純利益>

四半期純利益は、のれん償却の税負担が影響し、前年同期比3.5%減の177億円となりました。既存事業では、前年同期比5.0%増の193億円となりました。

事業セグメント別の売上高の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

事業セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
ホスピタル事業	売上高	77,327	73,992	△4.3	△3.4
	(国内)	62,460	59,272	△5.1	△5.1
	(海外)	14,867	14,719	△1.0	3.8
心臓血管領域事業	売上高	71,782	78,484	9.3	14.2
	(国内)	19,936	25,649	28.7	28.7
	(海外)	51,846	52,835	1.9	8.6
血液システム事業	売上高	12,472	12,478	0.0	3.7
	(国内)	5,321	4,942	△7.1	△7.1
	(海外)	7,151	7,536	5.4	11.7
ヘルスケア事業	売上高	2,089	2,195	5.1	5.9
	(国内)	1,753	1,791	2.2	2.2
	(海外)	335	403	20.2	25.5

(注) CaridianBCT社、Harvest社除く

<ホスピタル事業>

国内では、慢性期市場での主力商品である半固形栄養食品や、「ネスブ」などD&D（ドラッグ&デバイス）分野での受託ビジネスが売上増に寄与しました。一方、震災の影響により輸液剤をはじめ一部の商品で売上が減少し、前年同期比で減収となりました。

海外では、アジア、中南米地域でシリンジや輸液ポンプなどが好調に推移し、現地通貨ベースでは売上を伸ばしましたが、為替の影響を大きく受けました。

その結果、ホスピタル事業の売上高は前年同期比4.3%減の740億円となりました。

<心臓血管領域事業>

国内では、5月に販売を開始した薬剤溶出型冠動脈ステント「Nobori」（ノボリ）が順調に売上を伸ばしシェアを獲得したほか、血管内超音波診断カテーテル「ViewIT」（ビューイット）が好調に推移し売上を伸ばしました。

海外でも既に欧州、アジア、中南米で販売している「Nobori」（ノボリ）が順調にシェアを拡大し売上を伸ばしたほか、米州ではTRI（手首の血管から冠動脈にアプローチするカテーテル手技）の普及によりカテーテル商品群が順調に推移し売上を牽引しました。

その結果、心臓血管領域事業の売上高は為替の影響を受けながらも前年同期比9.3%増の785億円となりました。

<血液システム事業>

国内では、血液バッグの売上が前年同期比マイナスとなりました。

海外では、欧州で血液自動製剤システム「TACSI」（タクシー）が好調に売上を伸ばし、事業全体を押し上げましたが、為替の影響を受け、血液システム事業の売上高は前年同期とほぼ同じ125億円となりました。

<ヘルスケア事業>

国内では、震災による消費の低迷など影響を受けましたが、売上高は前年同期比5.1%増の22億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2,618億円増加して6,818億円となりました。流動資産は216億円増加して2,582億円となりました。現金及び預金が113億円、たな卸資産が78億円増加となりました。

固定資産は2,401億円増加して4,237億円となりました。有形固定資産は119億円増加、無形固定資産は2,305億円増加、投資その他の資産は23億円減少となりました。

(負債)

負債の部は2,704億円増加して3,550億円となりました。

流動負債は2,277億円増加して3,065億円となりました。短期借入金が2,200億円増加しております。

固定負債は427億円増加して484億円となりました。繰延税金負債が415億円増加しております。

(純資産)

純資産の部は、86億円減少して3,268億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ31.9ポイント減少し、47.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

昨今の外国為替相場の状況を考慮し、下期の想定レートを1ドル=75円、1ユーロ=103円に見直します。また、本年3月にFDA（米国食品医薬品局）との和解に至りました米国子会社で品質システム強化のための追加投資を予定しており、これらの影響を業績予想の前提に含めることにより、平成23年7月28日に公表しました「平成24年3月期連結業績予想」を以下のとおり修正いたします。

なお、この修正により業績予想の前提となる通期の平均為替レートは、1ドル=77円、1ユーロ=108円を想定しております。

(単位：百万円)

	従来予想	修正予想	増減額	前年比 (%)
売上高	390,000	383,000	△7,000	16.7
営業利益	67,000	62,600	△4,400	△0.0
営業利益率	17.2%	16.3%	—	—
のれん償却前営業利益	74,600	70,000	△4,600	9.1
のれん償却前営業利益率	19.1%	18.3%	—	—
経常利益	65,000	58,000	△7,000	1.9
当期純利益	38,500	32,500	△6,000	0.5
当期純利益率	9.9%	8.5%	—	—
のれん償却前当期純利益	46,100	39,900	△6,200	17.6
のれん償却前当期純利益率	11.8%	10.4%	—	—

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、CaridianBCT社の株式を新たに取得したため、同社及びその子会社24社を連結の範囲に含めております。また、Harvest社の株式を新たに取得したため、同社及びその子会社1社を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社の有形固定資産の減価償却の方法について、平成10年4月1日以降取得の建物（附属設備を除く）及びリース資産を除き、定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しています。

当社は、平成21年度より愛鷹工場、富士宮工場及び甲府工場において、新規投資を進めており、その主な内容は、愛鷹工場の新棟と生産設備、富士宮工場の新棟と生産整備及び、甲府工場の生産設備、それに関わる建物附属設備の拡張であります。

上記新規生産設備は、平成21年度より随時稼働を開始しており、本格的な稼働は平成23年度であることから、当該新規生産設備稼働による影響が大きく発生する当連結会計年度において減価償却方法の検討を行いました。当該生産設備、生産予定の各製品に類似した製品に関わる生産高について過年度推移を確認し、今後の生産見通しを確認しました。

その結果、各類似製品の生産高は長期安定的に推移しており、新規生産品についてもその計画生産高は安定的に増加すると予定しています。

一方、既存生産設備の工場ごとに生産設備全体の生産高及び修繕費について過年度の推移を確認するとともに、今後の見通しを検討した結果、生産高は長期安定的に推移し、生産設備の修繕費は長期平準的に発生する見込みであることが確認されました。

また、全ての海外生産拠点では定額法を採用しており、平成23年4月のCaridianBCT社の買収により、平成23年度において海外生産設備の重要性が増加しております。当該状況を踏まえ、第1四半期連結会計期間より、当社グループの有形固定資産の実態をより適切に反映するため、当社の生産設備（機械及び装置、工具、器具及び備品）と生産拠点として使用している建物、建物附属設備及び構築物について定額法を採用することが適切であると判断しました。

なお、定率法を採用していた国内連結子会社の生産設備、当社グループの生産に関連しない有形固定資産については、その金額的重要性を鑑みて同様に定額法へ変更しました。

この結果、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の売上総利益は1,342百万円、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ1,742百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	83,794	95,061
受取手形及び売掛金	76,480	80,684
商品及び製品	36,152	41,630
仕掛品	5,869	5,816
原材料及び貯蔵品	15,651	18,020
繰延税金資産	7,797	11,019
デリバティブ債権	6,084	174
その他	5,406	6,697
貸倒引当金	△726	△949
流動資産合計	236,510	258,156
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,052	46,457
機械装置及び運搬具（純額）	29,861	34,609
土地	20,227	21,173
リース資産（純額）	950	1,116
建設仮勘定	10,442	14,597
その他（純額）	6,524	7,025
有形固定資産合計	113,059	124,980
無形固定資産		
のれん	20,191	133,050
顧客関連資産	—	80,390
その他	6,537	43,796
無形固定資産合計	26,728	257,237
投資その他の資産		
投資有価証券	28,895	28,644
繰延税金資産	8,136	7,153
その他	6,706	5,637
投資その他の資産合計	43,739	41,435
固定資産合計	183,527	423,652
資産合計	420,037	681,809

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,711	30,928
短期借入金	—	220,000
リース債務	294	337
未払法人税等	6,297	10,337
繰延税金負債	123	152
賞与引当金	5,001	5,221
役員賞与引当金	145	72
災害損失引当金	351	43
設備関係支払手形及び未払金	5,749	7,493
資産除去債務	560	1,400
その他	29,611	30,560
流動負債合計	78,846	306,547
固定負債		
リース債務	636	756
繰延税金負債	378	41,862
退職給付引当金	1,082	1,089
役員退職慰労引当金	586	202
資産除去債務	991	152
その他	2,060	4,386
固定負債合計	5,734	48,449
負債合計	84,581	354,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	59,030	59,030
利益剰余金	342,965	357,260
自己株式	△76,879	△76,884
株主資本合計	363,832	378,122
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,919	△1,407
繰延ヘッジ損益	3,611	1
為替換算調整勘定	△30,322	△50,139
その他の包括利益累計額合計	△28,630	△51,545
少数株主持分	254	234
純資産合計	335,456	326,812
負債純資産合計	420,037	681,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	163,918	190,718
売上原価	78,319	87,541
売上総利益	85,599	103,177
販売費及び一般管理費	52,893	68,544
営業利益	32,706	34,632
営業外収益		
受取利息	130	164
受取配当金	229	239
受取ロイヤリティー	66	67
持分法による投資利益	66	39
その他	278	575
営業外収益合計	771	1,087
営業外費用		
支払利息	47	352
売上割引	279	296
為替差損	4,570	2,988
たな卸資産処分損	154	472
その他	252	317
営業外費用合計	5,304	4,428
経常利益	28,174	31,291
特別利益		
固定資産売却益	6	14
災害損失戻入益	—	156
退職給付信託設定益	494	—
補助金収入	—	227
特別利益合計	500	398
特別損失		
固定資産処分損	259	52
投資有価証券評価損	19	1,112
役員退職慰労金	15	—
ゴルフ会員権売却損	—	5
特別損失合計	295	1,170
税金等調整前四半期純利益	28,379	30,519
法人税、住民税及び事業税	9,412	13,747
法人税等調整額	561	△965
法人税等合計	9,973	12,782
少数株主損益調整前四半期純利益	18,406	17,737
少数株主利益	42	24
四半期純利益	18,364	17,712

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,406	17,737
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,409	512
繰延ヘッジ損益	—	△3,610
為替換算調整勘定	△7,566	△19,861
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△0
その他の包括利益合計	△11,979	△22,959
四半期包括利益	6,427	△5,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,412	△5,202
少数株主に係る四半期包括利益	14	△19

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管 領域事業	輸血関連 事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	77,302	71,782	12,472	2,089	163,647	271	163,918
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	77,302	71,782	12,472	2,089	163,647	271	163,918
セグメント利益又は損 失 (△)	13,968	18,507	1,471	△850	33,097	△391	32,706

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△391百万円には、たな卸資産の調整額△508百万円、その他117百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ホスピタル 事業	心臓血管 領域事業	血液シス テム事業	ヘルスケア 事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	73,992	79,237	35,293	2,195	190,718	—	190,718
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	73,992	79,237	35,293	2,195	190,718	—	190,718
セグメント利益又は損 失(△)	14,324	18,010	2,042	△67	34,309	323	34,632

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額323百万円には、たな卸資産の調整額△1,113百万円、その他1,436百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結累計期間より、従来の「輸血関連事業」セグメントの名称を「血液システム事業」に変更しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結累計期間において、CaridianBCT社を買収しました。当該会社は、「血液システム事業」セグメントに属しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては111,391百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当社は平成23年10月27日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき自己株式を消却することを決議いたしました。

1. 消却する株式の種類

当社普通株式

2. 消却する株式の数

20,996,000株(消却前の発行済株式総数の9.96%)

3. 消却予定日

平成23年11月10日

4. その他

消却後の発行済株式総数 189,880,260株

4. 補足情報

所在地別収支

前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	日本	海外計	欧州	米州	アジア他	連結
売上高	89,475	74,443	26,492	30,631	17,319	163,918
営業利益	20,155	12,551	5,020	3,964	3,565	32,706

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

(単位：百万円)

	日本	海外計	欧州	米州	アジア他	連結
売上高	91,679	99,039	28,125	52,477	18,435	190,718
営業利益	17,427	17,205	4,738	8,860	3,606	34,632